

3月2日  
女性の力で地域づくりに貢献したい  
てしかが町女性のつどいを開催

たくさん  
の女性  
が参加



「未来を築くのは女性の元気！」をテーマに、てしかが町女性のつどい(弟子屈町女性団体協議会主催)が3月2日、社会老人福祉センターで開催されました。

地域の課題や社会問題について理解を深めようと毎年開催されていて、今年は235人が参加。「ばあば加工センターの活動について」「健康診断について」「弟子屈町の名木について」と題した講話が行われ、参加した皆さんは真剣に聞き入っていました。午後からは「いざという時、役に立つ応急手当の仕方」と題して、弟子屈消防署の村岡弘康救命救急士が生涯学習講演会を行いました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

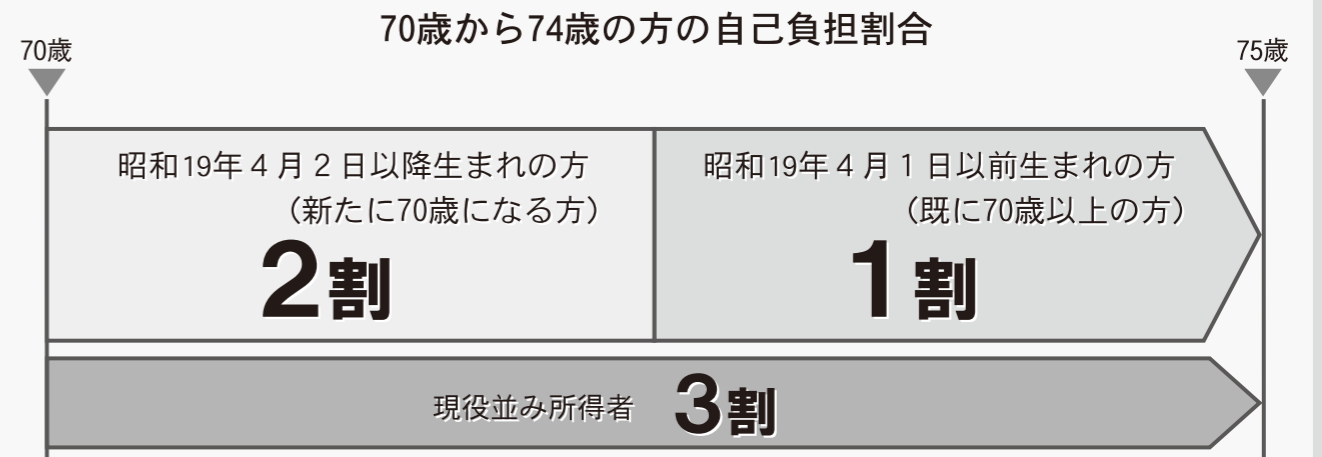
国民健康保険から制度改正のお知らせ

70~74歳の方の自己負担割合を変更

国民健康保険に加入している70~74歳の方が医療機関にかかった際の自己負担割合が、平成26年度から変更になりました。

昭和19年4月2日以降生まれの方は2割となり、昭和19年4月1日以前生まれの方はこれまでと同様に1割に据え置かれます。

現役並み所得者の方の自己負担割合は、3割のまま変更ありません。



※現役並み所得者とは、同一世帯に住民税課税所得が145万円以上の70~74歳の国保加入者がいる方です。

上記の自己負担割合で医療機関を受診するためには「高齢受給者証」が必要です。70歳になると自己負担割合が記載された「高齢受給者証」が交付されます。この証は誕生日の翌月(1日が誕生日の方はその月)から使用することができます。

国民健康保険の保険証を更新します

次の窓口交付対象者を除き、各世帯に簡易書留郵便で保険証を発送します。発送は4月15日ころを予定しています。

▶窓口交付対象者

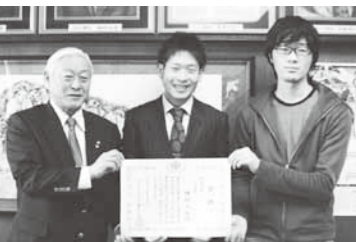
- ①特別証交付対象者/学生の方などで本町に住民票がない方。在学(園)証明書が必要です。
- ②短期証交付対象者/国民健康保険税を滞納している方。窓口相談の上、期間を定めて交付します。

※国民健康保険税の賦課に関係しますので、まだ所得の申告がお済みでない方は、速やかに申告手続きを済ませてください。

問い合わせ先/役場健康推進課健康保険係 ☎482-2935(課直通)

3月14日  
摩周そばの安定生産についての研究結果を発表  
4Hクラブの猪狩さんが全国大会で2位

喜びの  
報告を  
行う猪  
狩さん  
中央



3月10日から11日にかけて東京都で行われた第53回全国青年農業者会議で、弟子屈町4Hクラブの猪狩大智さんが、プロジェクト発表(土地利用型作物部門)で2位に当たる農林水産省経営局長賞を受賞、14日に役場に報告に訪れました。

4Hクラブは農業青年で構成する団体で、昨年からの取り組み摩周そばの安定生産に向けたプロジェクトでの受賞。今年のテーマは「SOBA-青さに魅かれし男達」で、質の良いソバの生産に関する研究結果と、その内容が同生産組合に認められた点などが評価されました。

3月13日  
新たな旅立ちを祝福  
自衛隊入隊予定者の激励会

左から  
倉向君  
佐藤君  
香川君



町自衛隊協力会(八幡豊行会長)と町自衛隊父兄会(和田操会長代行)主催の弟子屈町自衛隊入隊予定者激励会が3月13日、役場委員会室で開催されました。

今年は、弟子屈高校を卒業した香川龍成君、佐藤優太君、倉向主人君が入隊を予定しています。自衛隊協力会の八幡会長のあいさつの後、和田自衛隊父兄会会長代行から記念品が手渡され、徳永町長や自衛隊関係者が激励の言葉を贈りました。入隊予定者を代表して佐藤君が「弟子屈で育ったことを誇りに、立派な社会人となるよう頑張りたい」と、決意を語りました。

3月20日  
地域の防災や防犯を呼びかけます  
弟子屈・標茶両町と警察キャラクターが協定

協定を  
交わし  
た牛山  
豚彦君  
右



摩周湖農協「牛山豚彦」、標茶町「ミルククックさん」「ハッピーくろべえ」、北海道警察「はくとくん」の4キャラクターが、防災、安心・安全地域活動キャラ協定を結びました。

調印式は3月20日、標茶町立さくら保育園・幼稚園で行われ、川口覚摩周湖農協組合長と森山豊標茶町副町長、小林順也弟子屈警察署長が協定書を交わし、4キャラクターの着ぐるみも園児に協力してもらいながら調印を行いました。

4キャラクターは今後、弟子屈警察署管内で行われる啓発・広報活動に参加し、防災や防犯を呼びかけていきます。

3月20日  
地域の交通安全のために  
和琴小児童が卒業記念に交通安全啓発パネル作製

完成作  
品を前  
に全校  
児童で



和琴小学校(森敏隆校長)の6年生2人が、卒業記念に交通安全啓発パネルを制作し、学校に贈りました。

平成25年度卒業生の高橋真人君と東出あきほさんが、学校前の国道243号を通るドライバーが安全運転に気をつけてくれること、和琴小学校の皆さんが交通事故に遭わないことを願って作製したもの。制作期間15日間をかけ、耐水性ペニヤに耐水ペンキを使って仕上げました。作品は3月20日の卒業式で披露。雪解けを待って、学校敷地内の国道に面する場所に設置される予定です。